

## 第58回二葉祭 同窓会展示（雛人形）

第58回二葉祭では、例年通り会議室をPTAの皆様とお借りして昭和初期のお雛様をかざりました。重い木の箱を倉庫から持ち出す時は、野球部の生徒さんのお力を借り「ばあちゃんちの押し入れの匂いがする」という生徒さんの言葉には役員一同すっかり笑ってしまいました。和やかなうちに飾り付けを終え、二葉祭を待つばかりとなりました。

初日は生憎の雨模様でしたが、程なく止み、薄曇りのなか二葉祭は始まりました。PTAの素晴らしい展示品のせいか、多くの方がお見えになり、キーホルダーも売らせていただきました。校長先生・教頭先生もわざわざ来ていただき、お雛様をご覧いただきました。旧校舎の写真、初代校長の写真など、懐かしい写真もご覧いただきました。

二日目は天気もよく、訪れる方も大勢いらっしゃいました。お雛様の由来を知らない方も多く、会長からの説明に感心されていました。中には女子高だったことを知らない方もいて、年月の重みを感じました。午前十一時から校長室に伺い、生徒会代表の方々に「二葉祭お祝い金」を会長よりさしあげました。生徒会長さんは準備のためか、声がすっかり枯れていましたが、「大切に使用させていただきます」と丁寧なお礼を言っていただきました。長野日报社と市民新聞社の二紙も駆けつけ、取材していただきました。午後一時から、お雛様の前で「ひな飾りの集い」を音楽部の生徒さんに来ていただいて開催しました。会長の挨拶の後、全員で校歌を斉唱し、大村はま先生作詞による「ひなまつり」を音楽部の生徒さんに歌っていただきました。会場には昨日に引き続き校長先生・教頭先生がお忙しいなか来ていただき、最後は全員で「ひなまつり」を斉唱しました。



中庭からは元気な歌声、会場では生徒さんの美しい歌声、若いエネルギーが満ちみちていて、パワーをもらったひと時でした。会場設営・片づけには、永田先生や生徒さんたちに大変お世話になりました。この場をお借りして御礼申し上げます。本当にありがとうございました。私たちの年代では実際に飾ってひな祭りを楽しんだ懐かしいお雛様と対面できた貴重な体験でした。

(副会長 小林真里枝記)